

■ BUNGAKUZA TSUSHIN 2024.6 Vol.778

文学座通信

- 本公演・地方公演『オセロー』…………… 1~4
あらすじ、配役、人物相関図、公演情報
- 幕間(まくあい)—— sara…………… 5
- 地方公演『五十四の瞳』…………… 6
- 『アンドーラ』座内合評会…………… 7
- アトリエ短信…………… 8



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

文学座公演

後援 日本シェイクスピア協会

作 ウィリアム・
シェイクスピア
訳 小田島雄志
演出 鷗山仁

オセロー

2024
6.29^上—7.7^日

宣伝写真 佐藤克秋 宣伝美術 三木俊一 (文京図案室)

新宿南口
紀伊國屋サザンシアター
TAKASHIMAYA

出演
石川 武
高橋ひろし
若松泰弘
浅野雅博
横田栄司
石橋徹郎
上川路啓志
柳橋朋典
千田美智子
増岡裕子
萩原亮介
sara
河野顕斗

アトリエ短信

■「ご好評につき文学座支持会への入会(緊急延長)決定!」

文学座支持会A・Y会員のご入会期限を緊急延長いたします。6月入会(A会員1万6千円/Y会員1万円)で、左記3演目にご招待します。

① 本公演『オセロー』6～7月

② アトリエの会「石を洗う」9月

③ 本公演『撰』10～11月

◇お申し込み・お問い合わせ
文学座企画事業部に
TEL 03-3351-7265

(午前11時～午後6時/日・祝を除く)

■築地小劇場開場一〇〇年の今、

新劇を考える二日間のシンポジウム

1924年6月、小山内薫や土方与志らが「築地小劇場」を開場しました。私設劇場と同名の劇団が一体となり、「演劇の実験室」として画期的な演劇運動を展開。古今東西の作品を手がけ、数多くの演劇人を育成し、今日の新劇の基礎を築きました。1945年3月の空襲で劇場が焼失。その後、再建は叶いませんでしたが、日本演劇史において記憶されるべき象徴となっています。築地小劇場開場100周年にあたる今年、新劇の源流と歴史を考えるシンポジウム「演劇の為に、未来の為に、民衆の為に」が二日間にわたって開催されます。

【パート1 戦前編】「築地小劇場開場から戦時中の劇団・演劇人」

「登壇者」大笹吉雄、青木筈子、堀川恵子／山口宏子(進行)

◇6月24日(月) 18時30分開演(18時開場)

【パート2 戦後編】「戦後の観客組織から今日に至る鑑賞団体と新劇運動ほか」

「登壇者」大井則生、中村たつ、岩崎加根子、鶴澤秀行、小杉勇二、シライケイタ、生田みゆき／濱田元子(進行)

※本山可久子は都合により降板となりました。

※登壇者は変更する場合があります。

◇6月25日(火) 13時開演(12時30分開場)

受付は開演の1時間前からです。

◇俳優座劇場

◇チケット前売開始 6月10日(月)

午前10時より文学座企画事業部に

◇入場料金 各回1,000円

(全席自由・消費税込)

◇お申し込み・お問い合わせ

TEL 03-3351-7265

(午前10時～午後6時/土・日・祝を除く)

※お申し込みの際、チケット精算方法についてお伝えいたします。

◇主催「築地小劇場開場100周年」実行委員会／共催 日本新劇製作者協会、全国演劇鑑賞団体連絡会議／協力 日本新劇俳優協会、公益社団法人日本劇団協議会、一般社団法人日本劇作家協会／後援 株式会社俳優座劇場

■文学座なつやすみ

こどもフェスティバル2024

「そんごくう」

乳幼児向けベビシアター『J'deだっこ』

◇7月26日(金)～28日(日)

◇信濃町・文学座新モリヤビル1階

◇チケット予約開始 7月8日(月)

◇料金 各回(小学生以下)100円／

おとな1,000円

※詳細は次号にて

◇主催 文学座こどもげき委員会

台本・演出) 6/1・2 仙台銀行ホール イズミティ21 [大ホール]、6/8・9 愛知県芸術劇場 [大ホール] ほか

★鹿野真央：『無頼の女房』(中島淳彦作、青山勝演出) 6/6～16 本多劇場ほか

★川辺邦弘、音道あいり、渡邊真砂珠：『いちばん小さな町』(瀬戸口郁作、高橋正徳演出) 6/7～9 俳優座劇場、6/11～7/30 全国演鑑連(関越・北海道・中国)

★鍛冶直人、星 智也：『鋼の錬金術師～それぞれの戦場』(荒川 弘原作「ガンガンコミックス」スクウェア・エニックス刊)、石丸さち子脚本・演出) 6/8～16 日本青年館ホール、6/29・30 SkyシアターMBS(大阪)

★山本郁子：『火の方舟』(堀江安夫作、桐山知也演出) 6/14～23 下北沢小劇場B1

★栗野史浩：『洞窟(ガマ)』(嶋津与志脚本、藤井ごう脚色・演出) 6/18～27 ひめゆりピースホール(沖縄)

★八十川真由野、林田一高：朗読『グッド・バイ』(太宰 治原作) 6/21 太宰 治文学サロン(三鷹市)

カローグ7～ある告白に関する物語～』(クシシュトフ・キェシロフスキ/クシシュトフ・ピエシェヴィチ原作、久山宏一訳、須貝英上演台本、上村聡史演出)&『デカローグ8～ある過去に関する物語～』(同前) 6/22～7/14 新国立劇場 [小劇場]

★亀田佳明：プログラムE『デカローグ9～ある孤独に関する物語～』(クシシュトフ・キェシロフスキ/クシシュトフ・ピエシェヴィチ原作、久山宏一訳、須貝英上演台本、小川絵梨子演出)&『デカローグ10～ある希望に関する物語～』(同前) 6/22～7/15 新国立劇場 [小劇場]

※プログラムD・E交互上演。

★倉野章子：『銀色のライセンス』(福島三郎作・演出) 5/26～7/3 全国演鑑連(首都圏・長野)

★池田倫太郎：ドラマリーディング『帰ってこない』(永井 愛作・演出) 6/1・2 俳優座劇場

★櫻井章喜：『ハムレット』(W・シェイクスピア作、小田島雄志 訳、吉田鋼太郎上演

出演情報 ◎追加情報は文学座HPにて

★木場允規、宝意紗友莉、鈴木結里：『ハリー・ポッターと呪いの子』(J.K.ローリング オリジナルストーリー、ジャック・ソーン オリジナルストーリー・脚本、小田島恒志・小田島則子訳、ジョン・ティファニー オリジナルストーリー・演出) 2022年7月～2024年6月末 TBS 赤坂ACTシアター

★佐川和正：『ハムレット Q1』(W・シェイクスピア作、松岡和子訳、森 新太郎演出) 5/11～6/2 PARCO劇場、6/8・9 森ノ宮ピロティホール(大阪)、6/15・16 東海市芸術劇場 [大ホール]、6/22・23 久留米シティプラザ [ザ・グランドホール]

★亀田佳明、名越志保：プログラムC『デカローグ5～ある殺人に関する物語～』(クシシュトフ・キェシロフスキ/クシシュトフ・ピエシェヴィチ原作、久山宏一訳、須貝 英上演台本、小川絵梨子演出)&『デカローグ6～ある愛に関する物語～』(同前、上村聡史演出) 5/18～6/2 新国立劇場 [小劇場]

★亀田佳明、大滝寛：プログラムD『デ

文学座通信のお届けはゆうメール(日本郵便)を使用しており、土日祝の配達はありません。そのため毎月10日頃を過ぎる場合があります。数日お待ちいただければ幸いです。